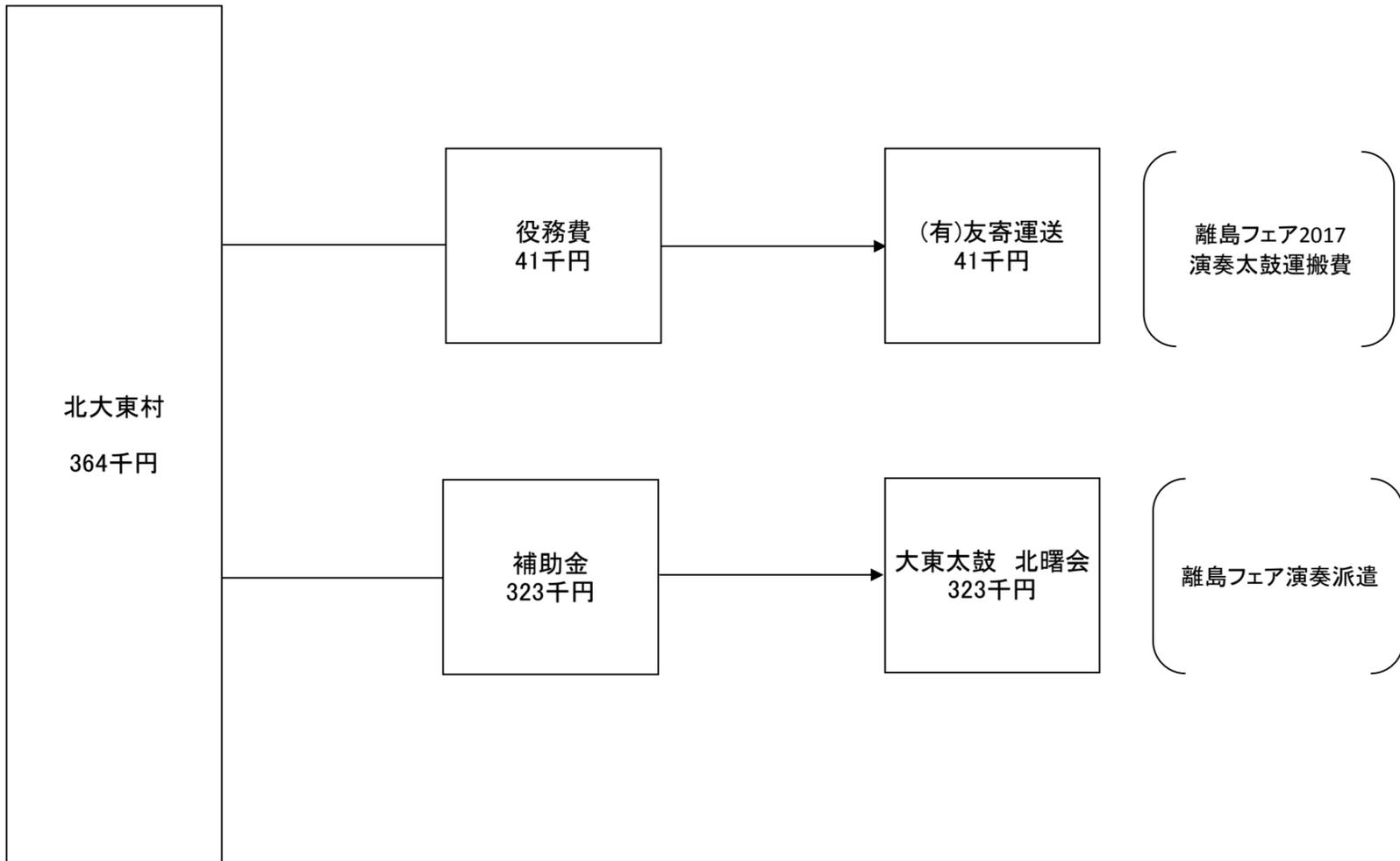


市町村名	北大東村						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	地域の観光文化資源の担い手育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-エ	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島を支える多様な人材の育成	
事業内容	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成すると共に、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,000	7,000	7,000	7,000	5,000
		(b) 予算現額	5,484	7,000	7,000	5,503	1,417
		(c) 増減額(b-a)	▲ 516	0	0	▲ 1,497	▲ 3,583
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	5,484	7,000	7,000	5,503	1,417
	B. 執行済額		5,481	5,829	4,848	4,664	364
	うち交付金充当額		4,384	4,663	3,878	3,731	291
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.9%	83.3%	69.3%	84.8%	25.7%
予算の状況の説明		委託料を村単費で行ったため予算3,000千円の減、また備品購入もなかったため予算583千円の減を行い、北大東村景観形成事業への流用を行った。 不用額1,053千円は文化交流イベント(県外)未実施によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	大東太鼓担い手育成練習回数(延べ数): 9~10日/年	目標	()	(9~10日/年)	(9~10日/年)	(9~10日/年)	
		実績		延べ数:9日	延べ数:9日	延べ数:9日	
	演奏備品購入:太鼓(1台)	目標	()	(太鼓(1台) 鉦(1本))	()	()	
		実績		太鼓(5台)・鉦(2本)			
	文化交流イベントの開催:5回(県外:1回・県内:4回)	目標	(5回)	(5回)	(5回)	(5回)	
実績		5回	6回	5回	4回		
達成状況説明	島内での太鼓指導を年間三回にわたって行い、子ども達の健全育成・文化継承、更にはUターンした若者への指導を実施し、担い手育成(太鼓後継者)を行った。県外イベントは八丈島での八丈太鼓・子供たちとの交流を企画していたが日程が合わずに次年度に持ち越しとなったが、村内行事(地域職員歓・送迎会、大東宮祭、敬老会:3回)・県内行事(離島フェア・開催期間3日間の演奏出演)への太鼓交流事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	文化資源の担い手育成数:1人	目標	()	(1人)	(1人)	(1人)	()
		実績		1人	1人	1人	
	文化交流のイベント演奏参加者数:40人(延べ人数)	目標	()	(40人)	(40人)	(40人)	()
		実績		40人	39人	20人	
【H30成果目標】島の観光入客数:1,500人以上		目標				1,500人	
進捗状況説明	交流事業の実施により、他団体との太鼓交流を通しての繋がりや子ども達の健全育成、本島での合同練習指導において文化継承・担い手の育成(1人)がなされた。又、伝統文化・島の魅力を発信した事によって、沖縄本島内・外からの誘客促進と観光振興に大きく貢献した。 八丈島(20名程度)でのイベントを予定していたが日程が合わずに次年度に持ち越しとなったが、沖縄本島でのイベントに参加(離島フェア演奏(20人)できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・県外(八丈島との交流)イベントは天候不良により、計画中止。 ・沖縄本島でのレッスン(OB・学生)の日程調整・確保が課題となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候不良を想定して計画段階から、代案の調整しておく必要がある。 ・沖縄本島でのレッスン(OB・学生)の日程調整・確保に課題があり、年間計画(概要)を通しての検討を行っていく。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・天候不良を想定して計画段階から、代案の調整を行う。 ・沖縄本島でのレッスン対象者に予め年間計画を配付して、日程調整・確保できるよう取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
364	364	291	73	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支出先については、太鼓指導を実施しているのは1団体のみとなっており、選定は妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、県外イベント未実施により、不用額(1,053千円)が生じたが、事業趣旨から適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において、北大東村交付要綱に基づいて支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	観光アクセス道路美化緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,500	4,000	5,000	5,000	3,500
		(b) 予算現額	3,016	4,000	4,089	2,497	2,500
		(c) 増減額(b-a)	516	0	▲ 911	▲ 2,503	▲ 1,000
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	3,016	4,000	4,089	2,497	2,500
	B. 執行済額		2,975	3,913	3,163	2,368	1,753
	うち交付金充当額		2,380	3,130	2,530	1,894	1,402
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.6%	97.8%	77.4%	94.8%	70.1%
予算の状況の説明		事業計画のとおり、アクセス道路や周回道路等の修景及び美化を実施したが、作業日数が減数となり不用額となる為、北大東小中学校ランチルーム整備事業への補正流用を行い、予算1,000千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	アクセス道路及び周辺道路の美化実施: 清掃員2名	目標	(美化実施・清掃員2名)	(美化実施・清掃員2名)	(美化実施・清掃員2名)	(美化実施・清掃員2名)	
		実績	美化実施: 清掃員2名	美化実施: 清掃員4名	美化実施: 清掃員4名	美化実施: 清掃員4名	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	清掃員(常備:4名)を雇用し、アクセス道路や周回道路(10箇所:村内主要道路・村内神社・上陸公園・沖縄県最東端の碑等)に対し、重点的に修景及び美化を実施し、観光客等の受入体制が整備できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	アクセス道路及び周辺道路の美化実施: 2,500m	目標	()	(美化実施: 2,500m)	(美化実施: 2,500m)	(美化実施: 2,500m)	()
		実績		美化実施: 2,500m	美化実施: 2,500m	美化実施: 2,500m	
	【H30成果目標】魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標				80%
	進捗状況説明	観光アクセスに重要な道路や周回道路の修景及び美化を重点的に実施(村内主要道路・村内神社・上陸公園・沖縄県最東端の碑等の2,500m)する事により、観光客等の受入体制の整備・誘客促進・観光振興が図られた。					

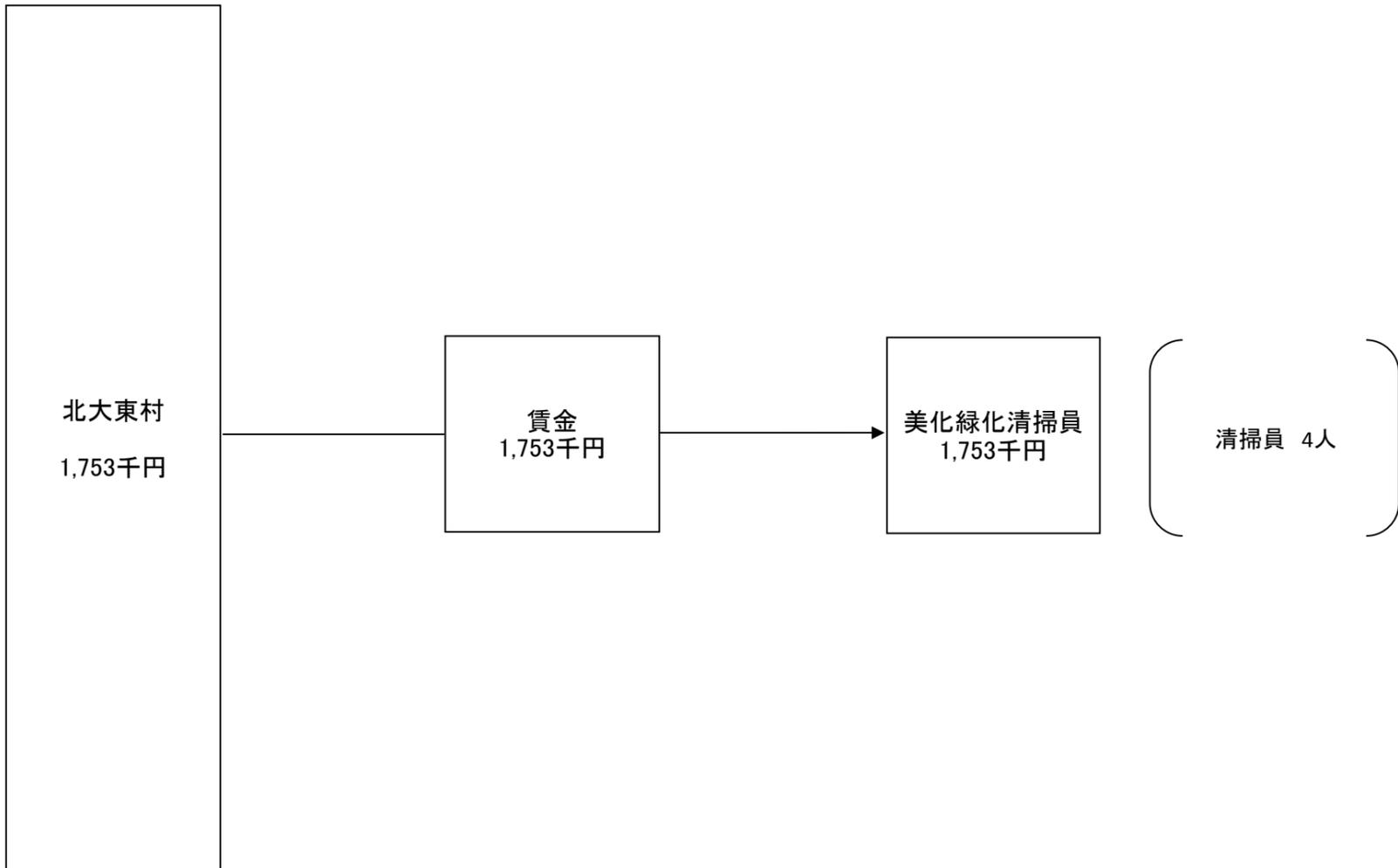
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	作業員の確保が十分にできていない状況であるが、住民からは現在実施している区域以外の道路について、修景及び美化の要望がある。	作業員の確保方法及び実施体制等を見直し実施区域を拡充する必要がある。

今後の取り組み方針

引き続きチラシ配布等で作業員の確保に努める他、限られた人員で効率的な実施ができるよう体制等の見直しを行い、実施区域拡充できるよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,753	1,753	1,402	351	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○賃金職員については、村内求人・賃金金額と併せて適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、未実施日もあり不用額が生じたが、事業趣旨から適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2	オンライン双方向授業支援モデル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	遠隔地である離島において、課題となっている教育環境格差を解消する為、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,000	12,000	12,000	12,000	12,000
		(b) 予算現額	11,000	12,000	12,000	11,500	12,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲500	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	11,000	12,000	12,000	11,500	12,000
	B. 執行済額		9,342	10,338	11,094	11,000	10,108
	うち交付金充当額		7,473	8,270	8,875	8,799	8,087
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		84.9%	86.2%	92.5%	95.7%	84.2%
予算の状況の説明		オンライン授業委託は事業計画どおり実施。休講等に伴う授業日数の減により、不用額1,892千円が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	オンライン双方向授業講師:10人	目標	(4人)	(4人)	(10人)	(10人)	
		実績	4人	4人	10人	15人	
	オンライン双方向授業受講生徒:35人	目標	(35人)	(35人)	(35人)	(35人)	
		実績	35人	35人	35人	33人	
達成状況説明	オンライン双方向授業にて現役東大生講師の指導の下、児童・生徒の学力向上が図られた。東大生講師の増数に伴い、各講師・教科ごとの指導・評価・取組等の分野が拡がり、学習方法・姿勢が身に付き教育環境格差の解消に繋がった。又、高校受験も全員合格という実績を得られた。 講師の5人増の要因としては当初予定していた講師の体調不良や留学等により代理で出たため増となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	29年度	30年度	31年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校(3年~6年)県平均以上	目標	()	(県平均以上)	()	()	()
		実績		平均以下 県 64.7% 村 52.7%			
	沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①中学校(1年~2年)県平均以上	目標	()	(県平均以上)	()	()	()
		実績		平均以上 県 47.4% 村 55.7%			
	進捗状況説明	オンライン双方向授業の実施により、現役東大生の指導を通して教育環境格差の解消が図られ、児童・生徒の学習に対する習慣や姿勢が身に付き、沖縄県、全国平均との学力差を縮めてきている。小学校の県平均には届かなかったが、学力向上が推進された。又、高校受験も全員合格の実績を得られた。					

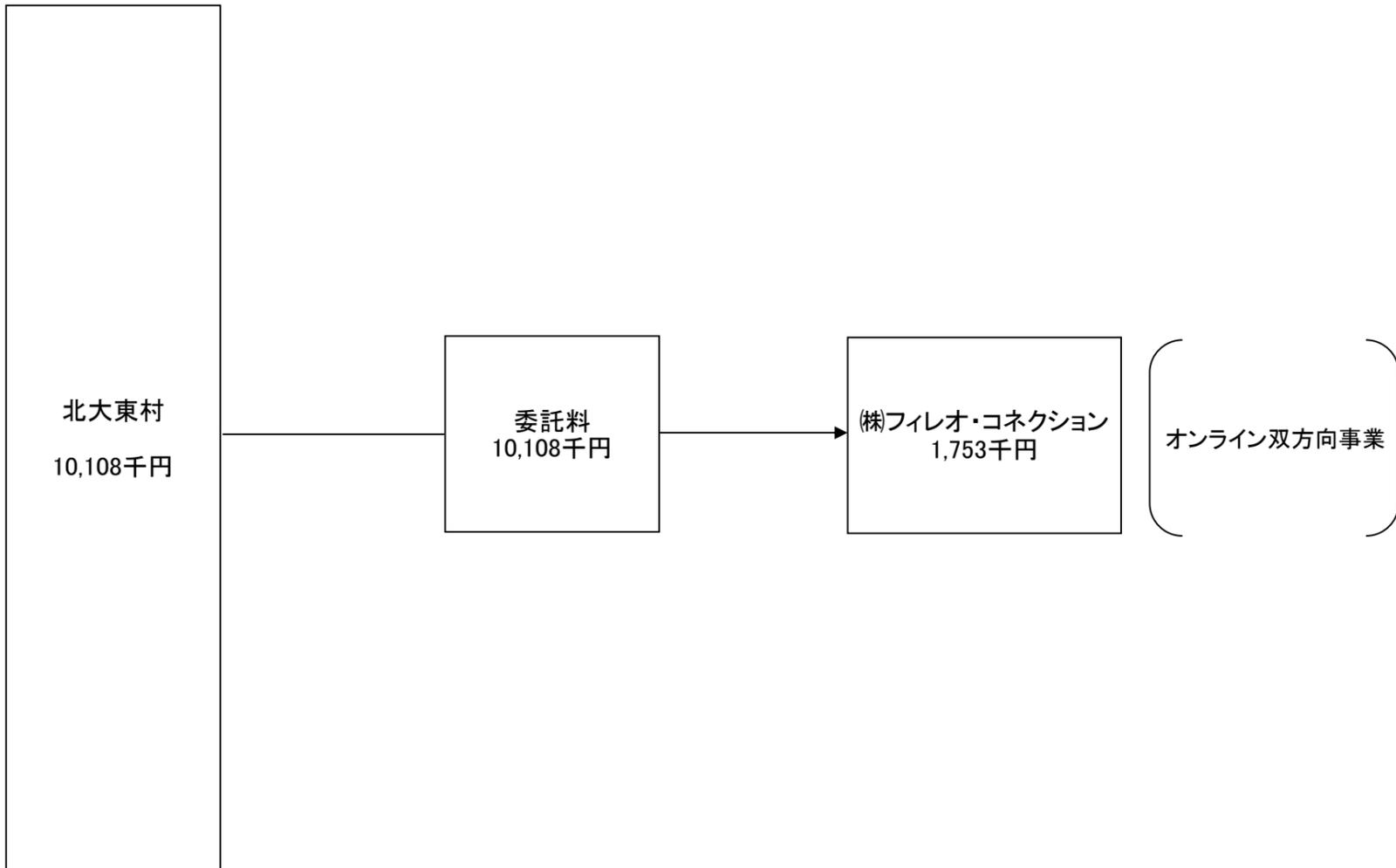
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	一部の児童生徒については、オンライン双方向授業の講師である現役東大生の指導について行くことができない。	指導について行けない児童生徒の状況を把握し、講師と授業の進め方等について検討する必要がある。

今後の取り組み方針

講師と授業の進め方について検討を行い改善に取り組む。また、村営塾の学習支援員が個別に教えることにより全体のレベルの底上げを行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
10,108	10,108	8,087	2,021	0



資金の流 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、オンライン授業を実施しているのは1社のみとなっており、随意契約にて契約は妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、授業休講日等により、不用額(1,892千円)が生じたが、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	子育て基盤の構築に向け、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。また、村営塾を充実させるため、学習支援員(塾講師)を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,500	7,500	8,000	8,000	7,000
		(b) 予算現額	6,998	7,000	8,000	7,000	7,125
		(c) 増減額(b-a)	▲ 502	▲ 500	0	▲ 1,000	125
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	6,998	7,000	8,000	7,000	7,125
	B. 執行済額	6,897	6,594	6,580	6,236	6,967	
	うち交付金充当額	5,517	5,275	5,264	4,988	5,574	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.6%	94.2%	82.3%	89.1%	97.8%	
予算の状況の説明	嘱託職員賃金の勤務実績が事業計画を下回った為、不用額158千円が発生した。預かり保育を利用する園児数が増になったため125千円を行い支援員を増やした。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	幼稚園児の預かり保育の実施のための支援員の配置:2人	目標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
		実績	2人	2人	3人	4人	
	学習支援員(塾講師)の配置:1人	目標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)	
実績		1人	1人	1人	1人		
達成状況説明	平成29年度も継続して預かり支援員を配置した事により、待機児童の解消と2歳児を含む未就学園児に対し、子育て支援が強化された。又、村運営の学習塾へ学習支援員(塾講師)を配置し、児童・生徒を対象に学習支援を実施し、教育環境格差の解消と高校受験全員合格という実績も得られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	預かり保育を利用する園児数:15人	目標	()	(10人)	(10人)	(15人)	()
		実績		10人	10人	35人	
	村営塾受講者数:35人	目標	()	(50人)	(35人)	(35人)	()
		実績		50人	35人	33人	
【H30成果目標】 対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	目標					80%	
進捗状況説明	預かり保育事業実施により、待機児童の軽減と、幼稚園入園への障害等(9人:親離れ・人見知り・学習発達・集団活動)を解消した。 村営塾への学習支援員(塾講師)の配置については、全校児童・生徒の約6割が村営塾で学習支援を受け、高校受験も全員合格という実績が得られた。						

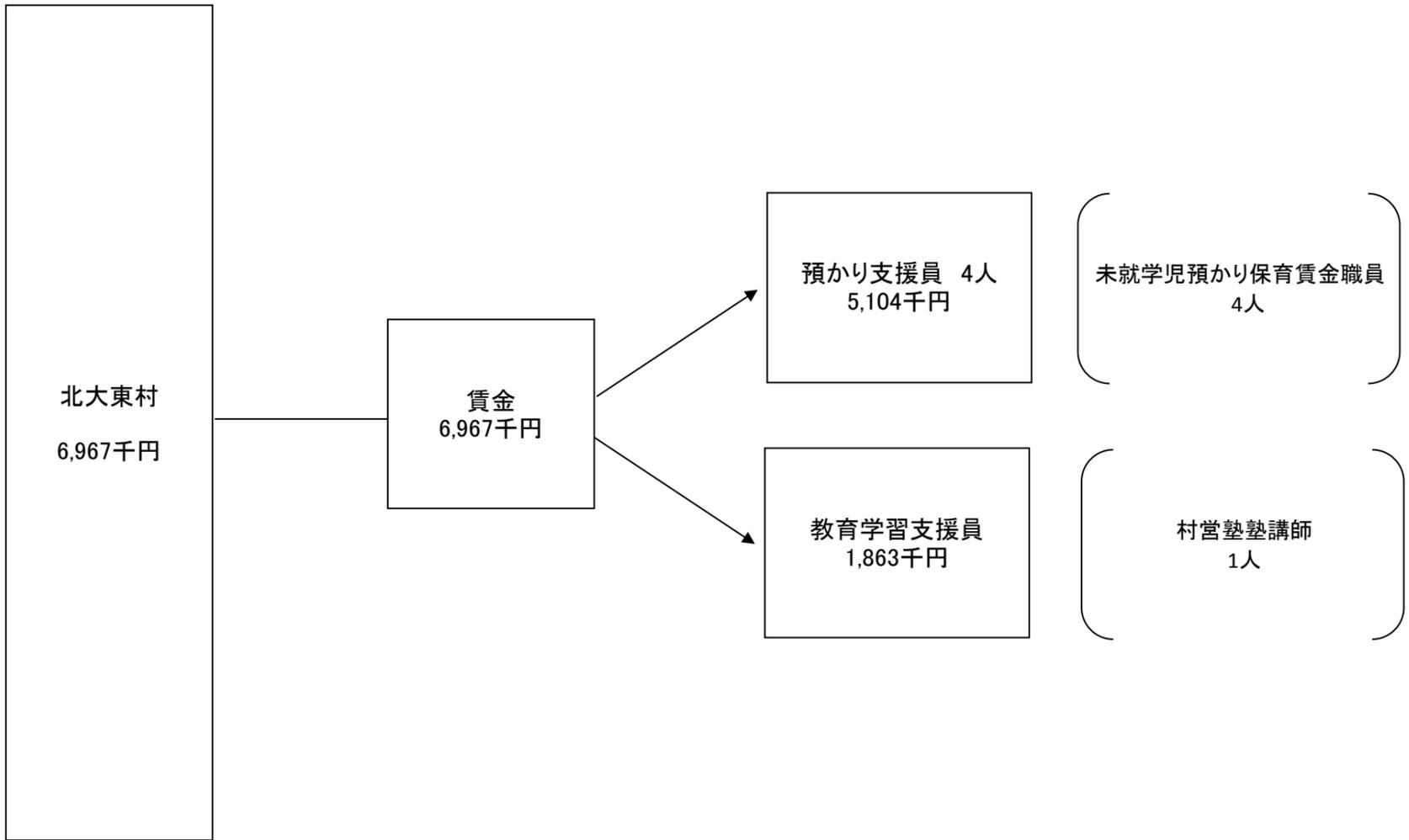
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育を利用する園児数が前年度より3倍ほど増になった。 ・保護者から預かり対象年齢の引き下げ要望があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の支援員の増員して子どもの管理体制を整える必要がある。 ・保育ニーズや今後の子供の人口の動向を踏まえて対応する必要がある。

今後の取り組み方針

・広報等を強化し、預かり保育の支援員となる人材確保に取り組む。
 ・就学前の適切な教育・保育を実施するためには、幼保連携型認定子ども園を設置する必要があるため、設置に向けて人員確保等の課題の解決に取り組む。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,967	6,967	5,574	1,393	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○嘱託職員については、村内求人・嘱託職員金額に併せて適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、預かり未実施・休講日等があり執行残が生じたが、事業趣旨から概ね妥当な予算規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	離島の児童の交流促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進するため、スポーツや交流学习における渡航費の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,000	2,500	3,500	3,500	2,000
		(b) 予算現額	2,602	2,614	3,044	2,100	1,875
		(c) 増減額(b-a)	▲ 398	114	▲ 456	▲ 1,400	▲ 125
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	2,602	2,614	3,044	2,100	1,875
	B. 執行済額		2,435	2,403	2,699	1,769	1,775
	うち交付金充当額		1,948	1,922	2,159	1,415	1,420
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		93.6%	91.9%	88.7%	84.2%	94.7%
予算の状況の説明		スポーツや他校との交流学习派遣費に未実施交流事業があり不用額となる為、離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業への補正流用を行い、予算125千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	渡航助成の実施	目標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績	30人	実施	実施	実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	学習・文化交流(那覇市・金城小学校、那覇地区中学校文化・音楽祭、英語ストーリーコンテスト)やスポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会)による本島への移動費助成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	スポーツや交流学习等の為に派遣する児童生徒数(延べ数):30人	目標	()	(30人)	(30人)	(30人)	()
		実績		110人	81人	74人	
	【H30成果目標】派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。		目標				80%
進捗状況説明	交流促進事業の実施により、他校(那覇地区中学校文化・音楽祭、英語ストーリーコンテスト)との文化交流が図られた事やスポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会)においては、地区大会上位実績・県大会派遣への意欲や技術・精神面での向上に繋がる成果が得られた。 平成27年度、28年度の成果目標(指標)に関して延べ数のとらえ方に誤りがあり修正した。						

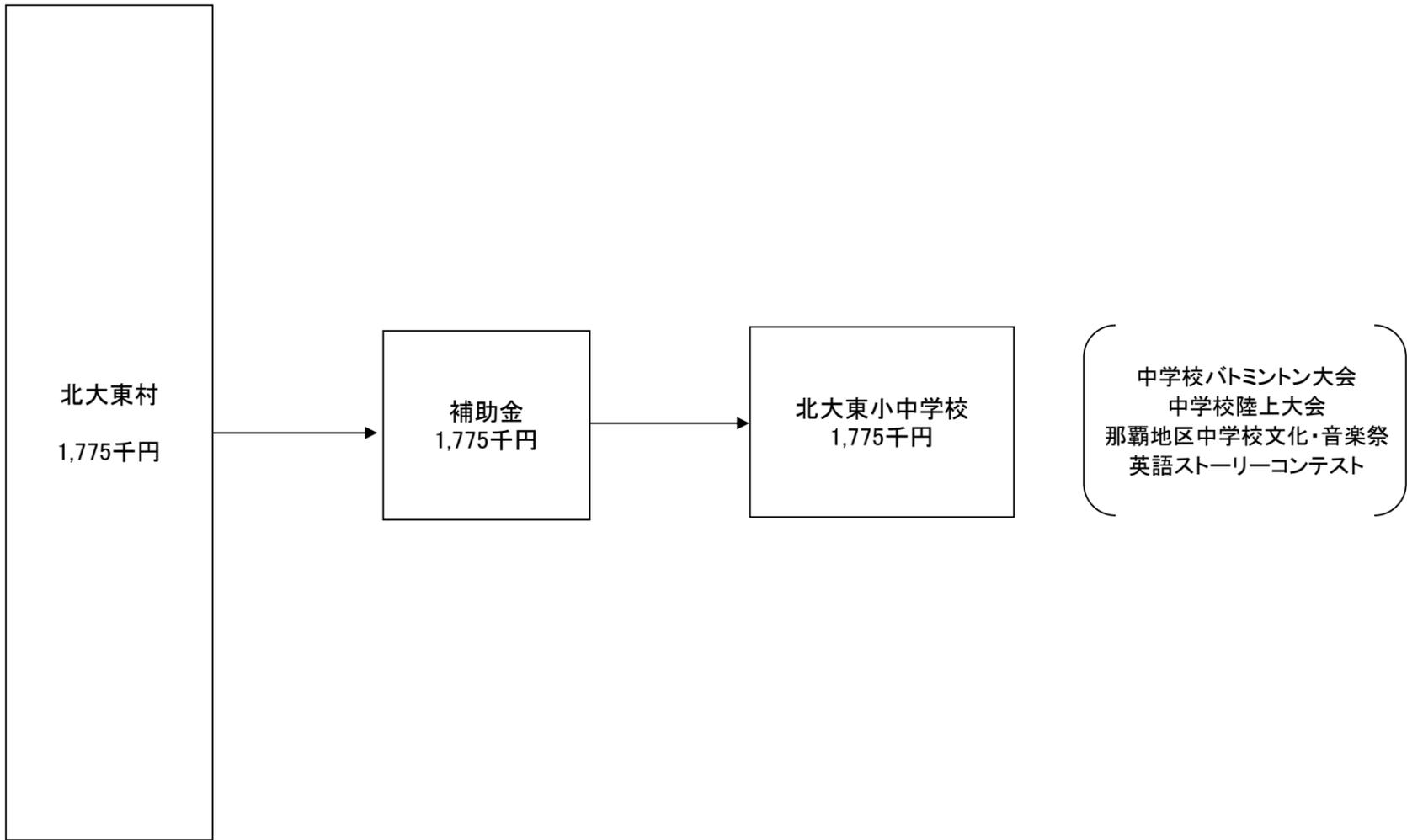
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	スポーツ派遣での助成対象(県外)を拡充し、1件(2人)補助を行ったが、児童生徒が刺激を受け成長に繋げるためには交流機会が不足している。	島外での児童生徒の交流機会を増やせるよう、派遣内容等を見直していく。

今後の取り組み方針

今後大会等のみではなく練習試合等にも拡充していけるように検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,775	1,775	1,420	355	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支出先については、生徒指導を実施しているのは1団体のみとなっており、選定は妥当であると考えます。 ○予算規模については、未実施事業があり執行残が生じたが、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	離島特別医療質確保推進事業					
担当部課名	福祉衛生課	事業実施(予定)年度 平成24~33年度					
		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上					
		沖繩振興基本方針該当箇所 III-9					
事業内容	離島の不利益を克服し、妊婦・特定重病患者等の健康を守るため、妊婦検診や島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	500	1,000	3,000	3,000	3,500
		(b) 予算現額	1,400	1,904	3,456	3,124	3,500
		(c) 増減額(b-a)	900	904	456	124	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	1,400	1,904	3,456	3,124	3,500
	B. 執行済額		1,046	1,831	3,136	2,547	2,615
	うち交付金充当額		836	1,465	2,508	2,037	2,092
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		74.7%	96.2%	90.7%	81.5%	74.7%
予算の状況の説明		事業計画どおり離島特別医療質確保推進事業を実施した。期間制限により885千円の執行残が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	妊婦検診助成の実施	目標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績	4回/1人	実施	実施	実施	
	特定重病患者の検診助成の実施	目標	()	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績		実施	実施	実施	
達成状況説明	島内で受診対応出来ない、妊婦検診(12人/62回)・特定重病患者検診(30人/60回)医療サービスを受ける際の沖縄本島への渡航移動費助成を行った。事業制度の周知が図られ妊婦助成・特定重病患者対象者への活動目標(検診渡航)が実施された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	妊婦検診助成回数(延べ数):40回 H28年度:5回/1人	目標	()	(50回(6回/1人))	(50回(5回/1人))	(40回(5回/1人))	()
		実績		61回(4.7回/1人)	28回(2.5回/1人)	62回(5.1回/1人)	
	特定重病患者(延べ数):45回	目標	()	(16回(4回/1人))	(45回(4回/1人))	(45回)	()
		実績		35回(2.9回/1人)	61回(2.0回/1人)	60回(2回/1人)	
	【H30成果目標】 渡航費支援が必要な人への支援率:100%		目標				100%
進捗状況説明	妊婦助成(12人/62回)・特定重病患者(30人/60回)の方が、助成申請・支援を受けた。、妊婦助成(継続)・特定重病患者(継続)実施した取組により、事業の認知・周知性が高まり事業制度が活用された。事業制度の周知が図られ助成妊婦・特定重病患者対象者に活用された。						

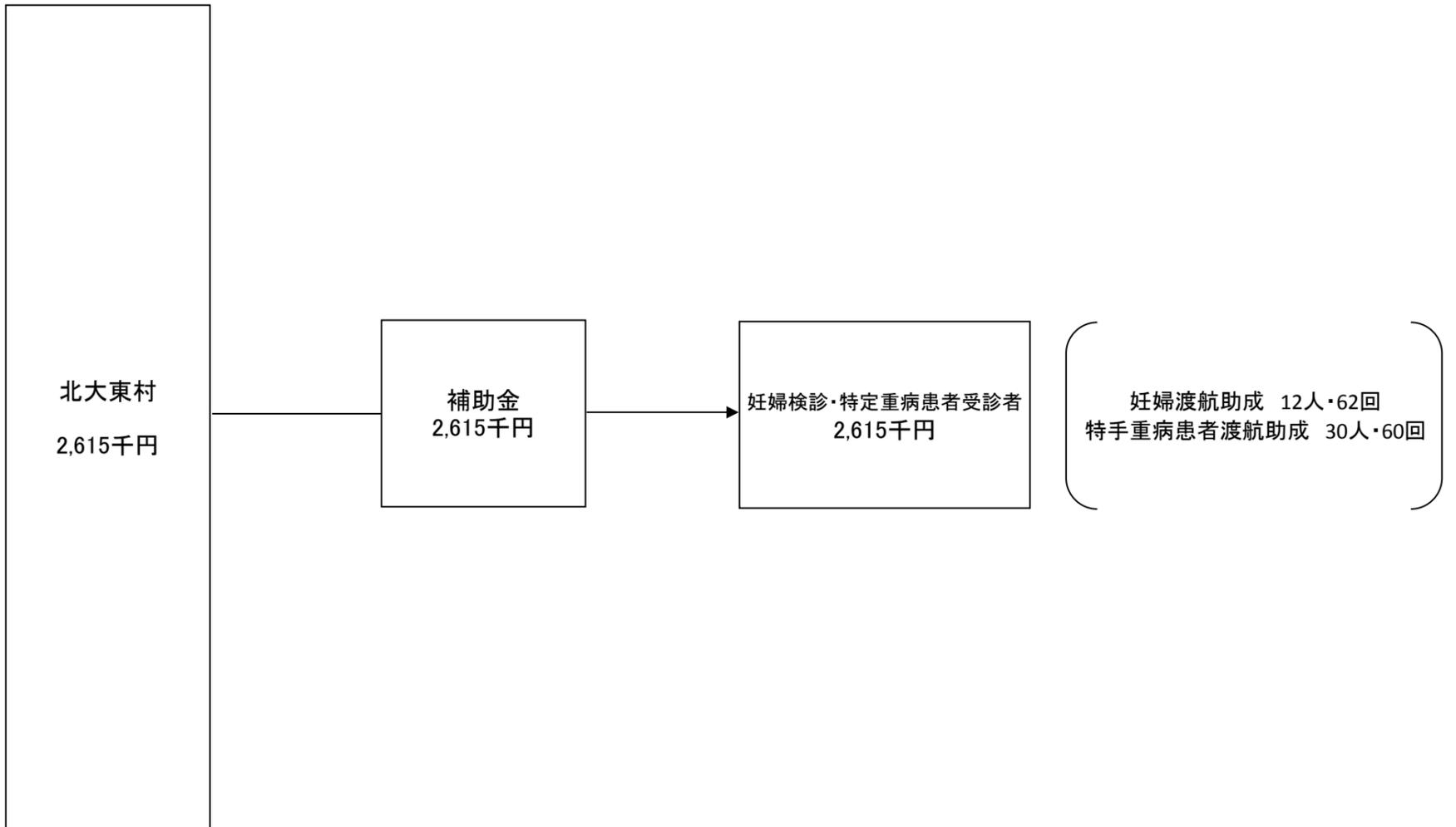
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業が広く知れ渡ることにより、本制度を活用する人が増加し、子供の人数も増加となった。	引き続き渡航費支援が必要な方が全員に支援できるよう、更なる周知を図る必要がある。

今後の取り組み方針

引き続き渡航費支援が必要な方が全員に支援できるよう、保健センターなどで妊婦や特定重病患者に対して呼びかけに取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,615	2,615	2,092	523	0



資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受診証明書・搭乗確認書等にて選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、期間制限により執行残(885千円)が発生したが、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4	北大東村景観形成事業					
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度 平成26~33年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 沖縄振興基本方針該当箇所					
事業内容	北大東村特有の地域性にあった景観を形成し観光誘客を図るため、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,250	10,250	27,000	7,100	
		(b) 予算現額	14,250	10,250	10,260	10,100	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 16,740	3,000	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	
		A. 計(b+d)	14,250	10,250	10,260	10,100	
	B. 執行済額		8,964	9,571	10,260	9,504	
	うち交付金充当額		7,171	7,656	8,208	7,603	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		62.9%	93.4%	100.0%	94.1%	
予算の状況の説明		事業計画のとおり、海岸道路沿いの景観形成整備を実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施:700m	目標	(50m)	(400m)	(900m)	(700m)	
		実績	50m	400m	900m	700m	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	マリンレジャー施設や観光ガイド施設等の観光基盤整備と合わせて、景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを地域性にあった植樹・環境に整備することにより観光誘客を図る。今年度は西港から北港向けへ景観形成の環境整備を行った。全長9,000m 進捗率22.7%						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	村一周海岸道路の植樹環境整備 監理・工事の完了:700m(進捗率38.9%(全長9,000m))	目標	()	(400m)	(900m)	(700m)	()
		実績		400m	900m	700m	
	村一周海岸道路の植樹環境整備 雑木伐採等の完了:700m(進捗率38.9%(全長9,000m))	目標	()	(400m)	(900m)	(700m)	()
		実績		400m	900m	700m	
【H30成果目標】魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標				80%	
進捗状況説明	—景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを、西港から北港向け(700m)に整備を行った。整備対象は全長9,000mであり、平成33年度の整備完了を目標としている。平成26年度から計2,050mを整備済みであり、進捗率については、22.77%となっている。						

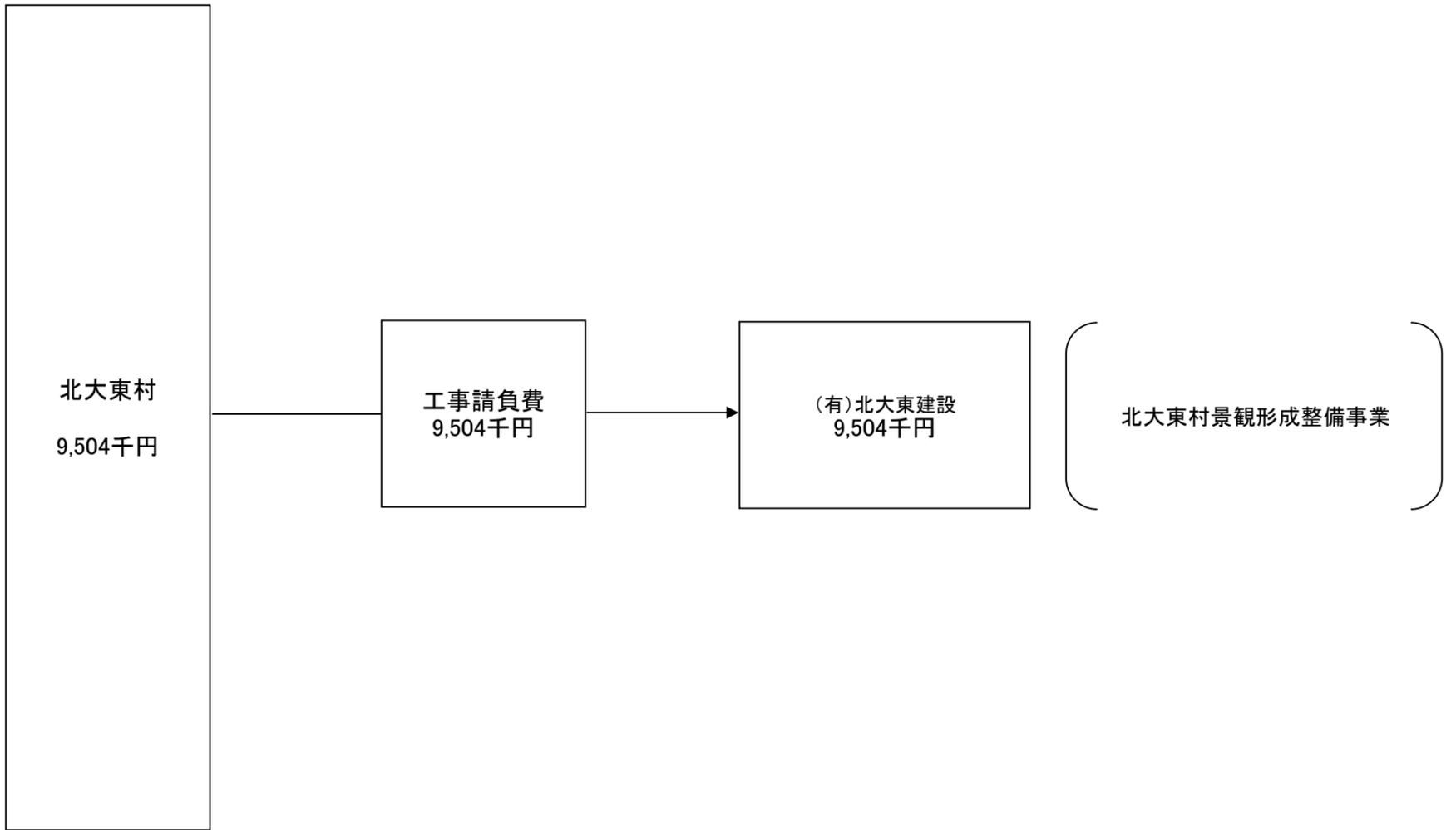
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>景観形成整備による植樹後、活着まで管理する作業員の不足が課題となった。</p>	<p>村では賃金雇用での作業員(人材)が不足しているため、植樹後の灌水作業等の管理方法について、団体等へ委託できないか検討する。</p>

今後の取り組み方針

賃金雇用の人員募集に対する応募がない場合に備えて、業者へ委託する方向で進めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,504	9,504	7,603	1,901	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5	北大東村防災・安全景観整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成27~29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	島を訪れる観光客や車両運転手・歩道歩行者等から街路灯・歩道照明の不足が指摘されており、防災・防犯・安全や景観整備の観点から街路灯・歩道照明の設置整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(30年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	80,000	80,000	56,000		
		(b) 予算現額	80,911	85,350	46,000		
		(c) 増減額(b-a)	911	5,350	▲ 10,000		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計(b+d)	80,911	85,350	46,000		
	B. 執行済額		80,910	85,296	45,360		
	うち交付金充当額		64,728	68,236	36,288		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.9%	98.6%		
予算の状況の説明		北大東小中学校ランチルーム整備事業の予算流用の為、予算10,000千円を減額した。事業計画どおり島内主要道路の街路灯照明設置事業を実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	島内主要道路・歩道の街灯照明設置:街路灯:54箇所工事の実施	目標	(104箇所)	(54箇所)	(54箇所)	()	
		実績	41箇所	44箇所	22箇所		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当該工事の実施にあたり、近隣住民と調整したところ、32箇所に関しては検討を重ねる必要があることから、22箇所の実績となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	島内主要道路の街路灯・歩道照明設置の完了:26,000m	目標	()	(26,000m)	(26,000m)	(26,000m)	()
		実績		26,000m	26,000m	26,000m	
	【H30成果目標】満足度調査結果80%以上		目標				80%
	進捗状況説明	三箇所の字で形成されている本村は、密集集落が無い為、集落以外の周辺は、街路灯・歩道照明が設置されていない。観光客や車両運転手・歩行者等から防災・安全や景観整備の観点から設置要望や不足が指摘されていた。本事業による街路灯照明設置によって、夜間の安心・安全な車両の運転及び歩行等ができるようになった。(※活動目標は、設置数未達成だが設置箇所は全体(26,000m)の主要・優先箇所に設置している為、26,000mを表記。)					

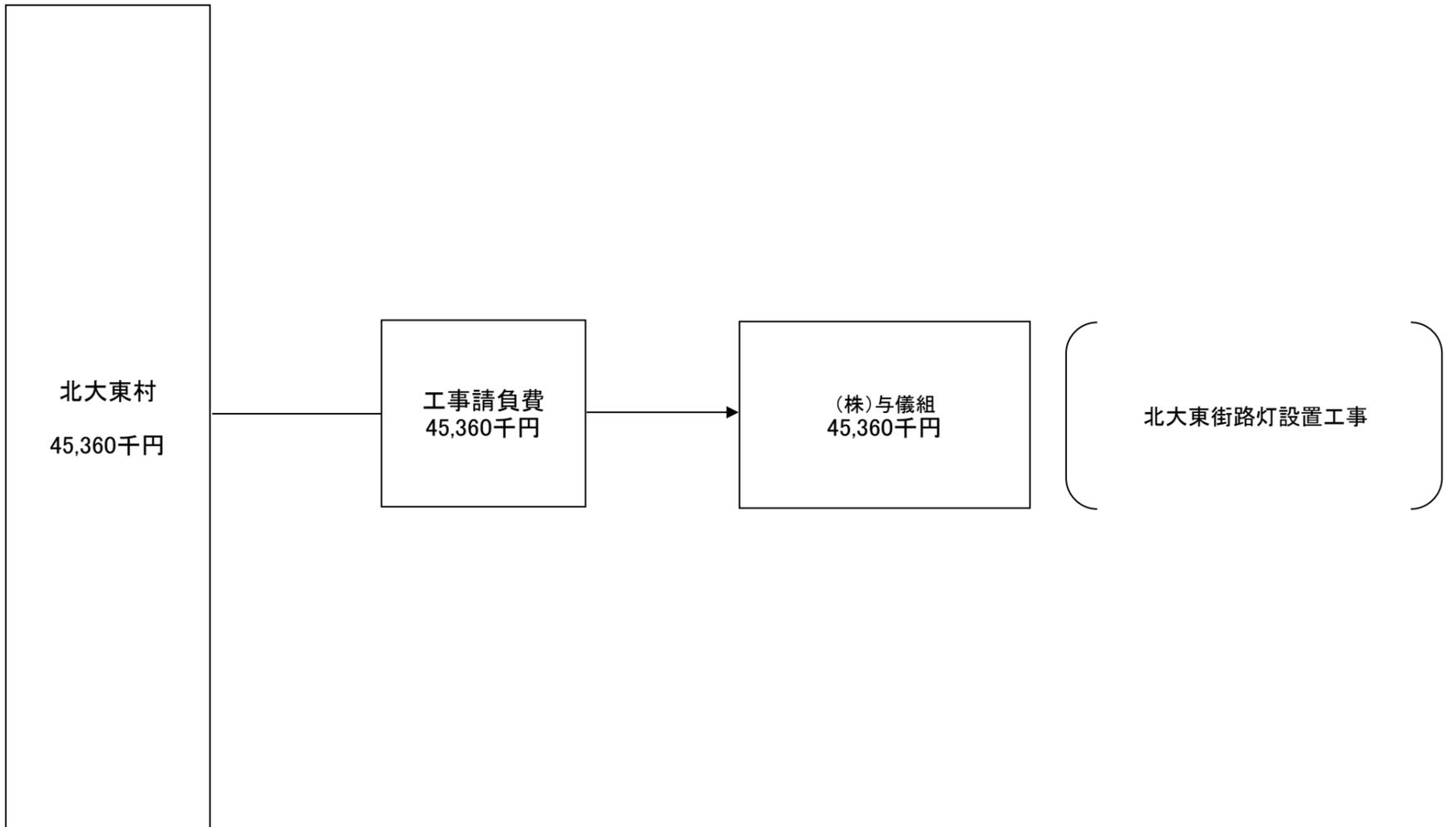
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	畑・敷地に被る街路灯の設置箇所は、主要・優先箇所であるが、住民との調整により設置を取り下げた箇所があった。	街路灯の設置を取り下げた主要箇所に関して、防災・安全・生活環境を勘案し、設置の必要性について住民と再度調整を行っていく。

今後の取り組み方針

街路灯未設置の主要箇所に関して、引き続き住民と調整を行い早期の設置に取り組み、防災・安全・生活環境を整え住みよい環境・地域づくりを図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
45,360	45,360	36,288	9,072	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者・工事請負業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、製品品質・耐久性等を勘案して事業内容趣旨から妥当な予算規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村							
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	離島食品・日用品輸送等支援実証事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 Ⅲ-9		
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から北大東島へ輸送される食品や衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		8,250	8,400				
			8,250	8,900				
			0	500				
			—	—				
			8,250	8,900				
	B. 執行済額		7,334	6,785				
	うち交付金充当額		5,866	5,428				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		88.9%	76.2%				
予算の状況の説明		補助対象の拡充により500千円の増。 3月運航分に関して申請期限などの関係で執行できなかった分の670千円は村の単費により支出した。 残りの1,445千円に関しては天候不良による延期が累計55日あったため不用額となった。 ※村・県で1/2ずつの負担となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度		
	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	目標	(支援の実施)	(支援の実施)	()	()		
		実績	実施	実施				
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	沖縄県離島地域は遠隔性、散在性、狭小性等の不利益条件から輸送コスト・高額物価や慢性的な人口流出・減少等により、地域活力の低下が懸念されている。 沖縄本島から北大東島へ輸送される割高な生活コストの低減し定住環境の改善を図るため、食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)	
	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)の縮小 (参考)H27指標:124.1 H28指標:124.0		目標	()	(価格差の縮小)	(価格差の縮小)	()	()
			実績		価格差の縮小	価格差の縮小		
	【H30成果目標】生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅		目標	()	()	()	()	(18.5ポイント以上)
			実績					
	進捗状況説明	離島食品・日用品等の輸送経費及び作業経費の支援により、小売店の仕入価格の負担軽減に繋がり、沖縄本島と離島の価格差の縮小され、離島住民の生活コストが低減された。 ※那覇市を100とした場合の指標をH28指標:124.0からH29指標:121.3と2.7ポイントの価格差縮小が実証できた。						

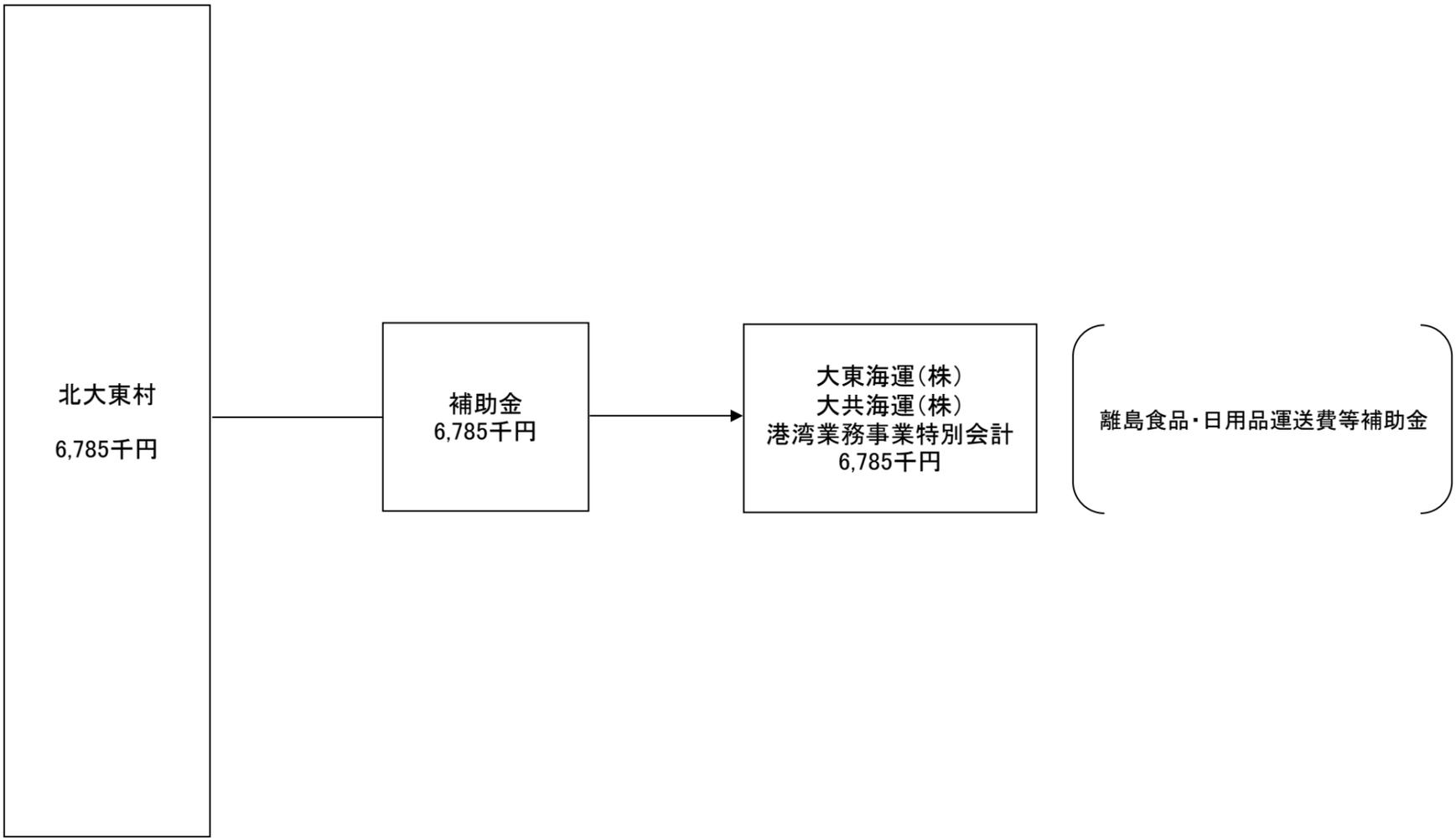
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>住民にとって生活コストの低減効果が実感される必要があるが、平成28年度アンケートで事業の認知度調査で89%の認知度に対して平成29年度は84.4%と前年度を下回る結果となった。</p> <p>平成29年度から台風等で船の欠航が4日以上続いた場合、パン、牛乳、卵、豆腐の4品目を飛行機でも補助対象としたが、住民からは野菜の追加要望があった。</p>	<p>平成29年度においては、事業ポスターの配布や事業名入りの価格ラベルの配布や値引きシールの配布等を店舗へ配布し活用してきたが、今後は更に村広報等へ記載等を行っていく。</p> <p>追加要望の野菜に対しては、本村での生産量が少なく必要性も高いため、同じく事業主体である県側と調整し対処していく。</p>

今後の取り組み方針

平成24年度より事業が開始され、5年が経過し事業認知度が薄れている可能性があり今後はポスター配布に加え村広報等にも記載し認知度を図る。
当初の4品目に加え野菜等の追加について県側と調整も行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,785	6,785	5,428	1,357	0



資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援費負担者については、南北大東船舶運航会社を選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、天候不良による延期が累計55日あったため適正だったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	